

平成30年度 生涯学習・社会教育関係職員研修講座

「第6回センター研修兼後期新任職員研修」

平成30年9月14日(金) 会場(青森県総合社会教育センター 第1研修室)
受講者数 31名

平成30年度生涯学習・社会教育関係職員研修講座における「第6回センター研修」を9月14日(金)に青森県総合社会教育センターにおいて、「後期新任職員研修」も兼ねて実施しました。

講師に、秋田大学大学院教育学研究科 教授 原 義彦 氏をお招きし、「**事業計画と評価・改善について**」と題し、御講義いただきました。

講義では、「目に見えないものは、評価は難しいということ」や「もし、実行したらどんな結果になるのか5年後を見据えて計画を立てること」など、計画を立てる際のポイントから始まりました。次に評価をより効果的に進めていくためのお話では、PDCAサイクルの「計画→実行→評価→改善」を行う上で、**計画と評価の関係性の重要性**について触れ、そこでもやはり「**評価するには目標をどう設定するのが重要であること**」を繰り返し話されました。

また、評価においては、**アウトプット(実施回数、利用者数、参加者数)**と**アウトカム(意識、行動の変化、地域の変化)**があり、**アウトカムの部分を評価しなくてはならない**ことも話されました。

「事業評価の視点と方法」については、**事業目標から評価項目を抽出**することで、その項目が**アウトプット**なのか**アウトカム**なのかははっきりし、目標の見直しにもつながることを説明してくださいました。その中で「**評価は多面的なものであることから、すぐに実践に結びつけるための『評価指標』を作ることが大切であり、指標を作ることができなかった事業に関してはやるべきではない。**」とおっしゃっていました。

【講師】 原 義彦 氏

【講義の様子】



午後の演習では、受講者に持参していただいた**実際に担当している事業の「事業計画」**の他に、事例として講師が準備して下さった「**こども科学教室**」、「**公民館のPRビデオを作ろう!**」、「**パソコン入門講座**」の4つの計画書の中から個々に事例選択し、「**評価項目**」「**評価指標**」を作成するグループワークを行いました。

まず、グループ内で担当している事業も含めた自己紹介を行い、お互いの事業の実施内容を大まかに把握しました。次に「事業のねらい」から、事業のアウトカムに関わる評価項目を取り出し、それが事業の内容と一致していなかったり、評価項目を取り出しにくかったりした場合は、「事業のねらい」を修正して、そこから評価項目を取り出し、評価項目を分析・測定できる評価指標を作成し、修正した箇所も含め最後に発表するといった内容でした。同じ事例を取り上げても、それぞれのねらいや事業の進め方によって様々な捉え方、考え方があり、計画づくりの多様性を実感できるものとなり、事業評価の重要性を改めて認識できました。

1. 講義「事業計画と評価・改善について」

講師：秋田大学大学院 教授 原 義彦 氏

【概要】

(1) 社会教育における計画と評価

- ・事業評価（総括的評価）…事業の実態とその結果を分析・測定し、事業の目標に照らして、達成度（または目標と実態の差）について価値判断すること。
- ・事業評価の意義…事業の改善、社会教育事業・生涯学習事業の意義の明確化、事業予算の確保、説明責任を果たす 等

(2) 事業評価の視点と方法

ア 評価項目の抽出…（中・長期目標、年度目標）事業目標等から抽出して具体的に作成する。

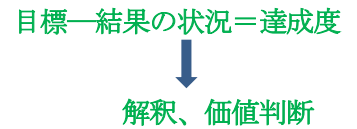
「〇〇〇の実施状況」、「〇〇〇の達成状況」とするとわかりやすい

イ 評価指標の作成

(ア) 評価指標＝評価項目の内容を分析・測定する道具

(イ) 評価項目ごとに評価指標を作成→指標のタイプ

a. 実数による場合 b. 比率による場合 c. 指数による場合 d. その他



ウ 観点の作成…評価指標のもつ意味を、評価の視点をもとにして作成（文章化するとよい）

事業目標 → 評価項目 → 評価指標 → 観点

エ 分析、測定、価値判断…個々の指標の測定値についての価値判断、個々の評価項目について価値判断、視点ごとの価値判断等 【計画期間（事業）終了後に】

オ 判定（総合判定）

2. 演習「事業評価のポイント」

【進め方】

ア 事業計画書にある事業と実施内容を大まかに理解する。

イ 「事業のねらい」から、事業のアウトカムに関わる評価項目を取り出す。ただし、事業の内容と「ねらい」が一致していなかったり、評価項目を取り出しにくかったりした場合は（ねらいが曖昧、抽象的、大きすぎるなど）、「事業のねらい」を修正して、そこから評価項目を2つ以上取り出す。

ウ 評価項目を分析、測定できる評価指標を作成する。

エ ワークシートに記入する。

オ 持参した事業計画・評価について、同様の検討を行う。また、既定の評価指標等の妥当性（目標を評価できているか）も検討する。

【演習の様子】



【講師からのアドバイスの様子】



3. 受講者の感想

- ・事業計画における目標を立てる時のポイントが理解できました。評価するという事まで考えて今後はやっていきたいと思えます。評価の仕方にも興味がありました。
- ・基本的な事業評価の手法を学んだ経験がなかったので、今回の研修は大変参考になりました。
- ・目標と評価の関連性を知ることができました。事業評価の方法でいつも悩むことがあったため、大変参考になりました。
- ・社会人20年目にして初めて知ることができ、嬉しいとともに恥ずかしくもあります。もっと早く知る機会に恵まれていればと思いました。